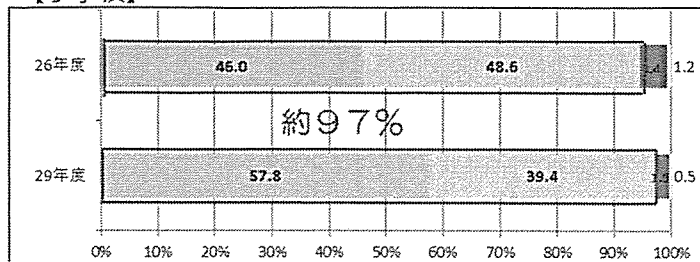


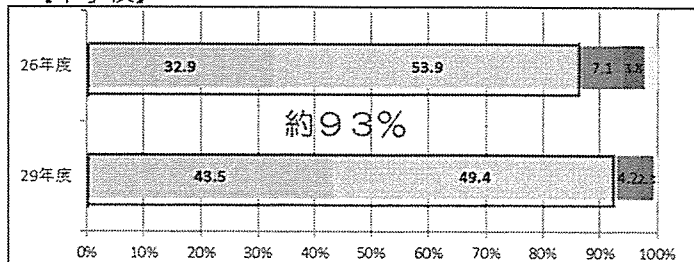
◆ 保護者や地域住民の学校支援ボランティア活動は、学校の教育水準の向上に効果があると思う学校は約9割にのぼる。

■ そう思う □ どちらかといえば、そう思う ■ どちらかといえば、そう思わない ■ そう思わない □ その他、無回答

【小学校】



【中学校】



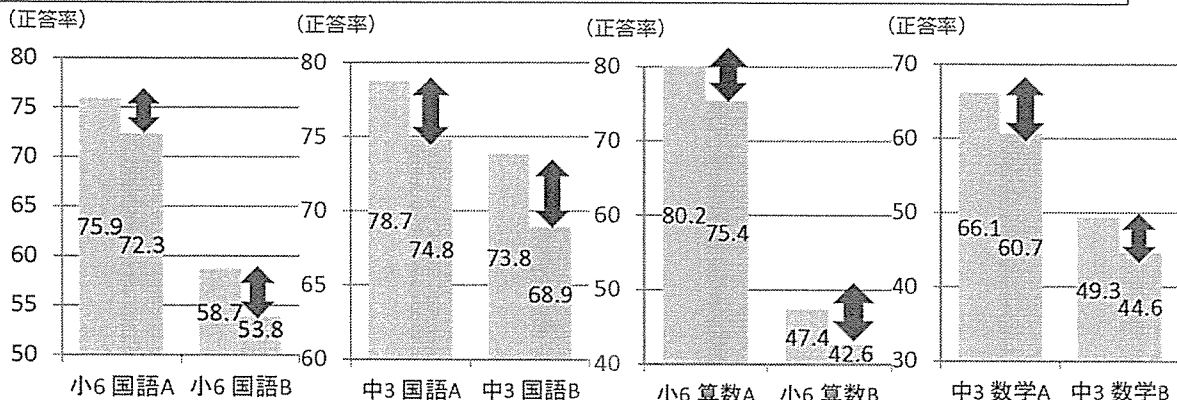
(平成29年度全国学力・学習状況調査 学校質問紙調査)

◆ 保護者や地域住民の学校支援ボランティア活動が進んでいる学校ほど学力が高い。

「地域には、ボランティアで学校を支援するなど、地域の子供たちの教育に関わってくれる人が多いと思うか」への回答と学力テストの正答率

■ そう思う □ そう思わない

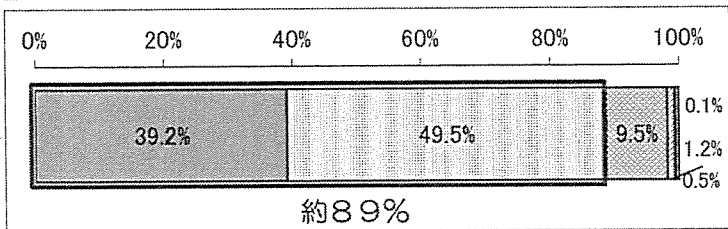
(平成29年度 学力調査を活用した専門的な課題分析に関する調査研究「保護者に対する調査の結果と学力等との関係の専門的な分析に関する調査研究」 国立大学法人お茶の水女子大学 平成30年3月)



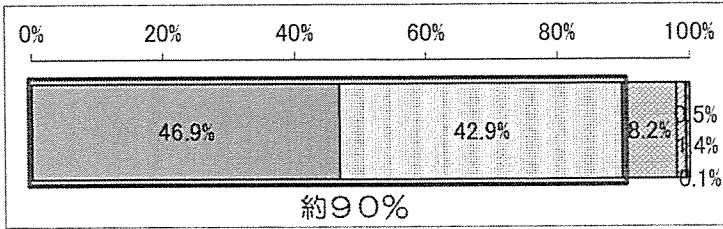
(「平成27年度地域学校協働活動の実施状況アンケート調査」文部科学省)

1. 子供たちへの効果

◆実際に本部事業に参加してみて、子供たちが地域住民と交流することにより、様々な体験や経験の場が増え、コミュニケーション能力の向上につながった。

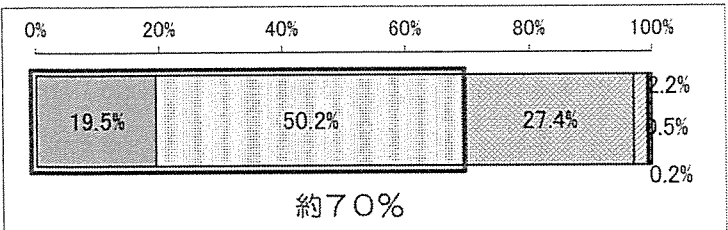


◆実際に本部事業に参加してみて、子供たちが地域住民と交流することにより、様々な体験や経験の場が増え、地域への理解・関心が深まった。

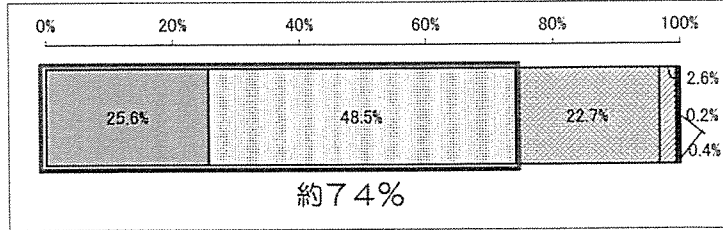


2. 地域への効果

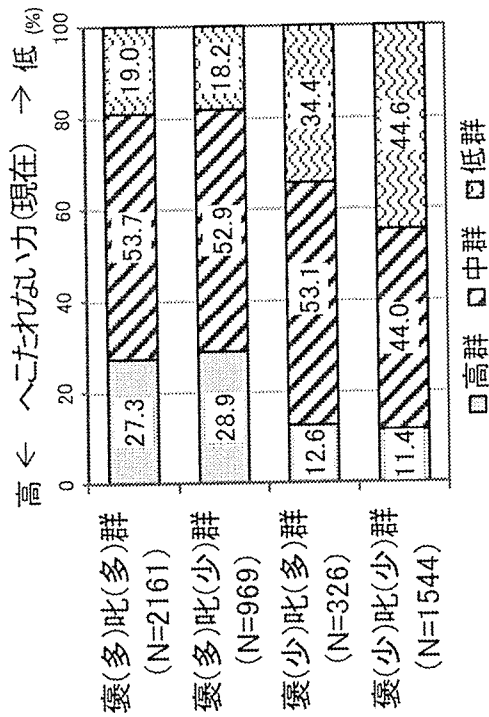
◆実際に本部事業に参加してみて、地域住民が学校を支援することにより、地域の教育力が向上し、地域の活性化につながった



◆実際に本部事業に参加してみて、地域住民の生きがいづくりや自己実現につながった。

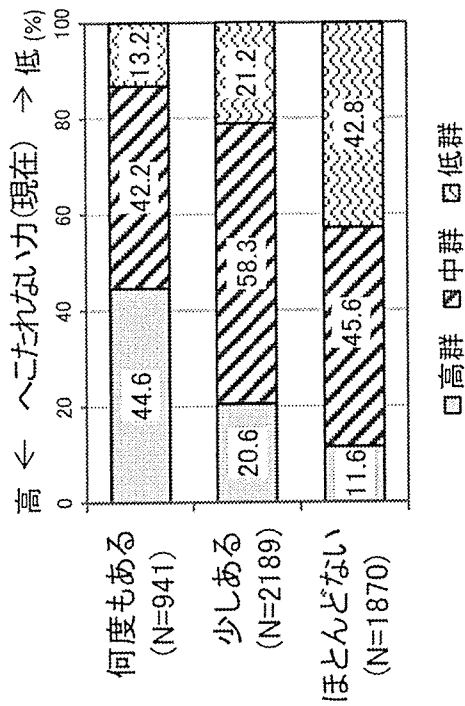


■ とてもそう思う ■ ややそう思う ■ どちらともいえない ■ あまりそう思わない □ まったくそう思わない ■ 無回答



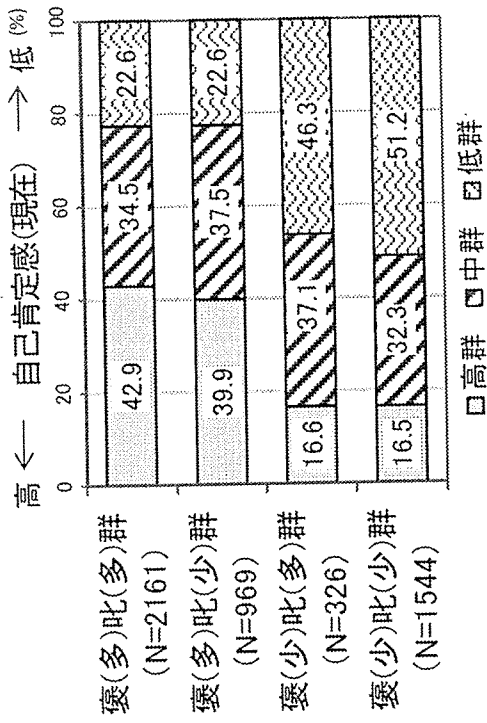
近所の人に褒められた・注意された経験 (子供の頃)

図 2-3-5. 近所の人に褒められた・注意された経験とへこたれない力の関係



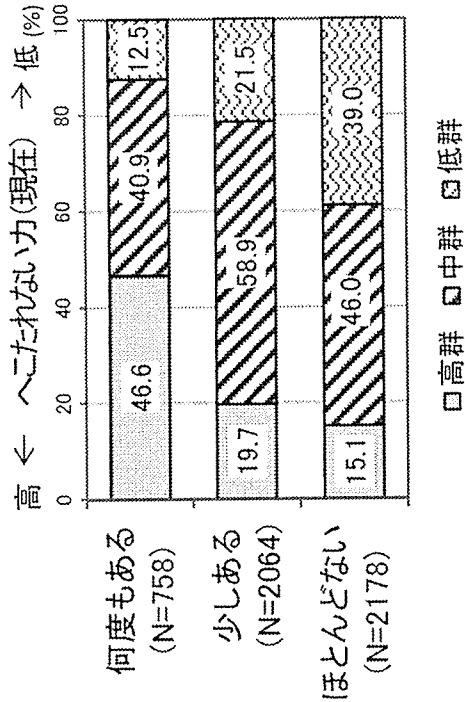
近所の人に褒められたこと (子供の頃)

図 2-1-27. 近所の人に褒められたこととへこたれない力の関係



近所の人に褒められた・注意された経験 (子供の頃)

図 2-3-6. 近所の人に褒められた・注意された経験と自己肯定感との関係



近所の人に遊んでもらったり、教えてもらったこと (子供の頃)

図 2-1-28. 近所の人と遊んだり、教えてもらったこととへこたれない力の関係

第2章 調査結果の概要

1. 社会を生き抜く資質・能力をはぐくむ子供の頃の体験

(1) 家庭・地域・学校における体験とへこたれない力の関係

- 子供の頃、家族行事やお手伝い、友だちとの外遊び、学校での委員会活動や部活動をよくしていた人はへこたれない力が高い。
- 子供の頃、家族との愛情・絆が強かった人、遊びの熱中度や学習意欲が高かった人はへこたれない力が高い。

家庭、地域（放課後や休日）、学校における体験の多寡とへこたれない力との関係を見ると、子供の頃、家庭で「基本的生活習慣」「お手伝い」「家族行事」、地域で「公園や広場で友だちと外遊びをしたこと」「友だちの家や自宅で友だちと室内遊びをしたこと」「スポーツクラブや少年団で活動したこと」「文化系の習い事に通ったこと」、学校で「児童会・生徒会の役員」「体育祭や文化祭の実行委員」「部活動の部長や役員」「運動系部活動で活動したこと」を経験したことがある人（「多群」「何度もある」等）ほど、へこたれない力が高い人（「高群」）の割合が高くなる傾向がみられた。

また、家庭、地域（放課後や休日）、学校における体験の質とへこたれない力の関係を見ると、子供の頃、「家族との愛情・絆」を強かった人（「強群」）や、「遊びの熱中度」「学習意欲」が高かった人（「高群」）ほど、へこたれない力が高い人（「高群」）の割合が高くなる傾向がみられた。

<家庭での体験>

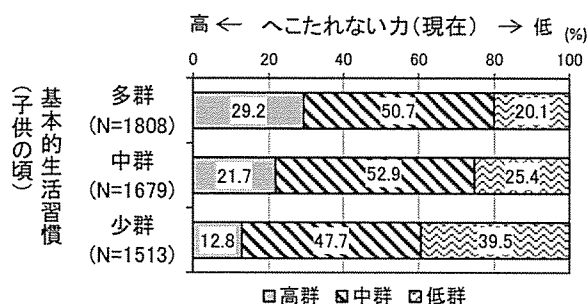


図 2-1-1. 基本的な生活習慣とへこたれない力の関係

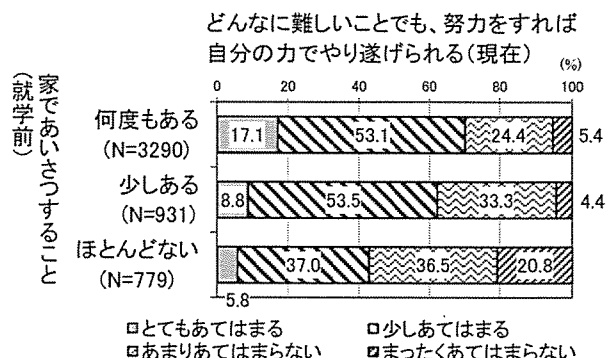


図 2-1-2. 家であいさつすることと努力すれば自分の力でやり遂げられるとの関係

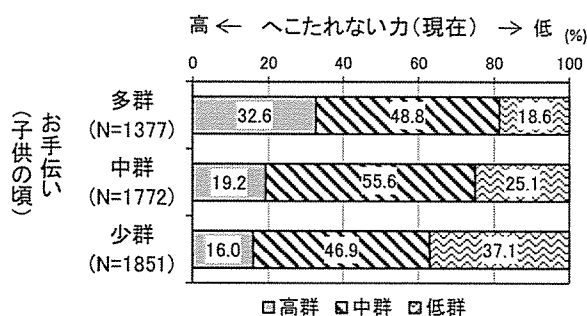


図 2-1-3. お手伝いとへこたれない力の関係

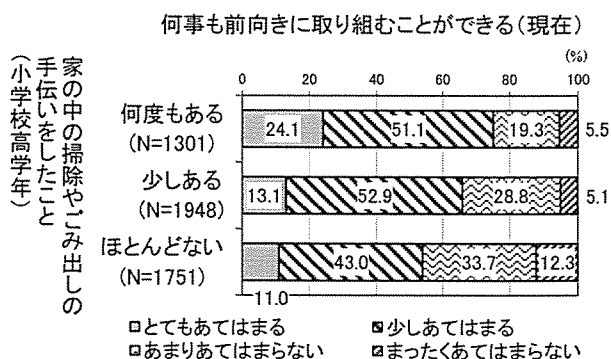


図 2-1-4. 家の中の掃除やごみ出しの手伝いをしたことと何事も前向きに取り組むとの関係

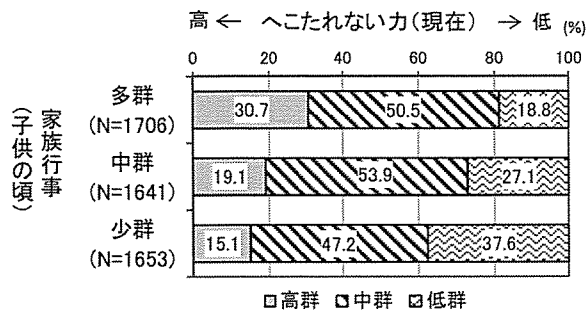


図 2-1-5. 家族行事とへこたれない力の関係

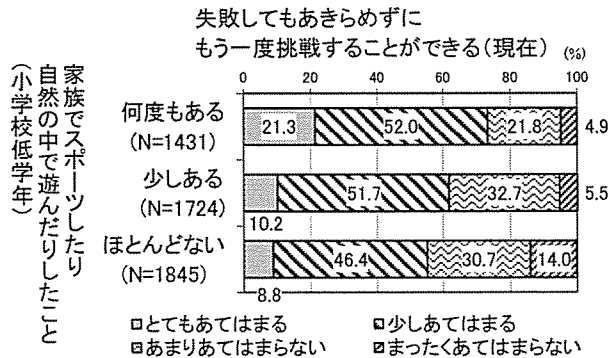


図 2-1-6. 家族でスポーツしたり自然の中で遊んだりしたことと失敗してもう一度挑戦するとの関係

体験の質※2-1 家族との愛情・絆

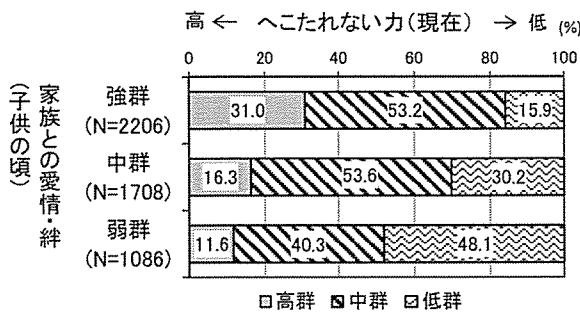


図 2-1-7. 家族との愛情・絆とへこたれない力の関係

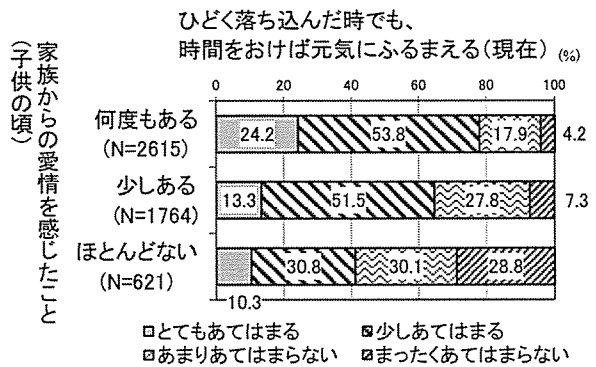


図 2-1-8. 家族から愛情を感じたことと落ち込んだ時でも元気にふるまえるとの関係

<地域(放課後や休日)の体験>

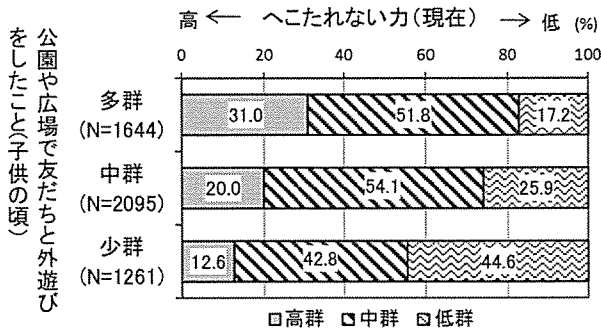


図 2-1-9. 公園や広場で友だちと外遊びをしたこととへこたれない力の関係

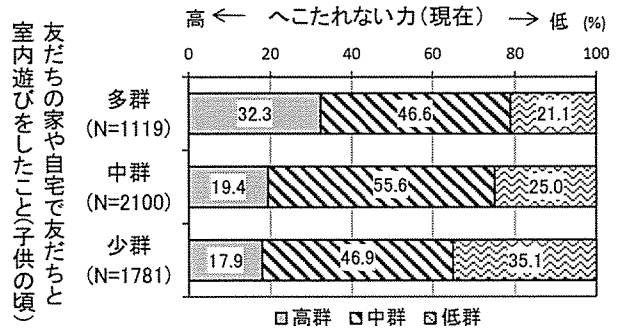


図 2-1-10. 友だちの家や自宅で友だちと室内遊びをしたこととへこたれない力の関係

※2-1 体験の質については、「(2) 子供の頃の体験の量と質について」(p3)を参照

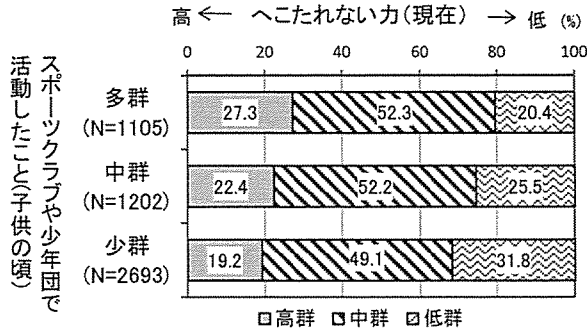


図 2-1-11. スポーツクラブや少年団で活動したととへこたれない力の関係

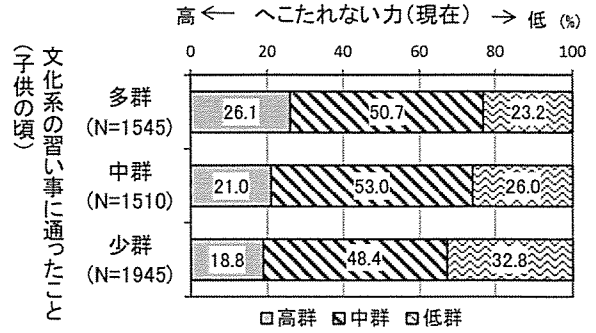


図 2-1-12. 文化系の習い事に通ったこととへこたれない力の関係

〔外遊びの内容〕

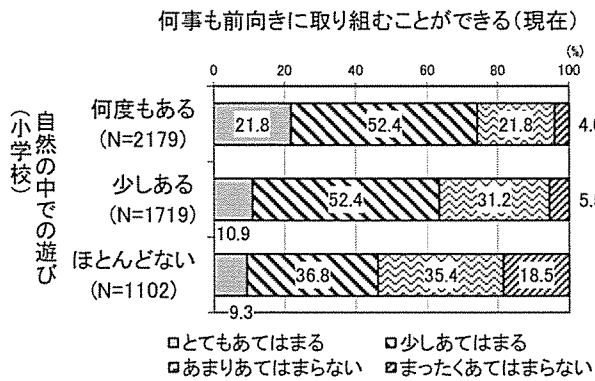


図 2-1-13. 自然の中での遊びと何事にも前向きに取り組むとの関係

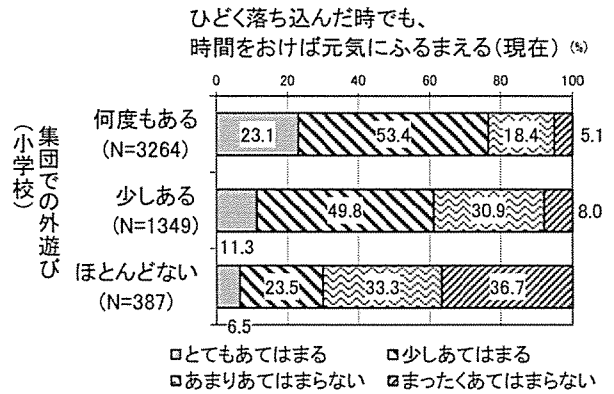


図 2-1-14. 集団での外遊びと落ち込んだ時でも元気にふるまえるとの関係

体験の質

遊びの熱中度

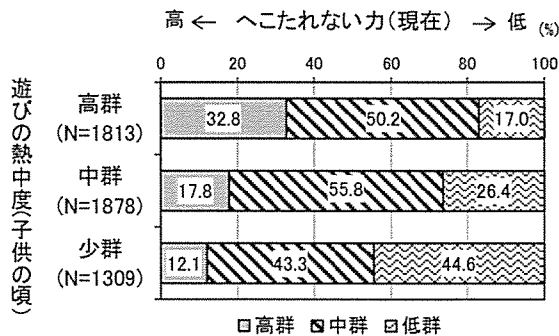


図 2-1-15. 遊びの熱中度とへこたれない力の関係

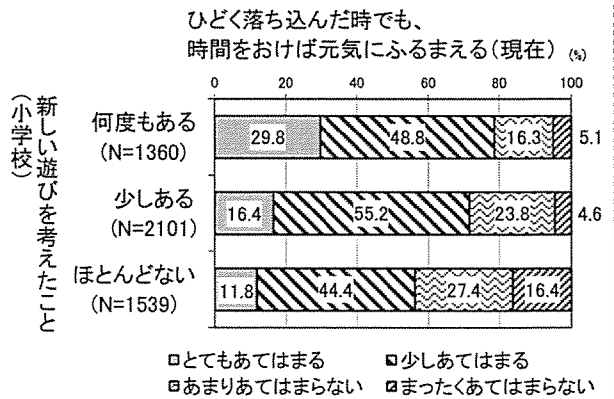


図 2-1-16. 新しい遊びを考えたことと落ち込んだ時でも元気にふるまえるとの関係

<学校での体験>

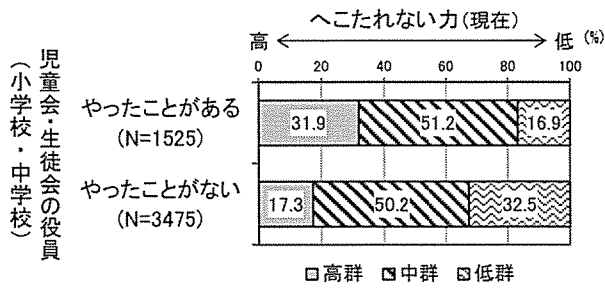


図 2-1-17. 児童会・生徒会の役員とへこたれない力の関係

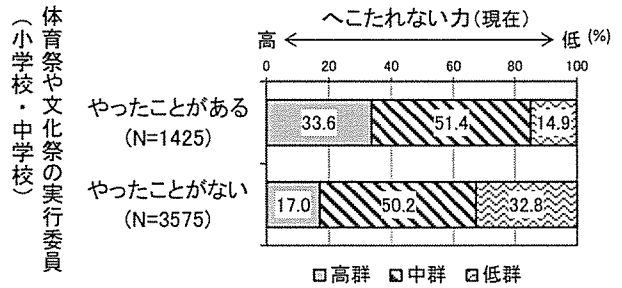


図 2-1-18. 体育祭や文化祭の実行委員長とへこたれない力の関係

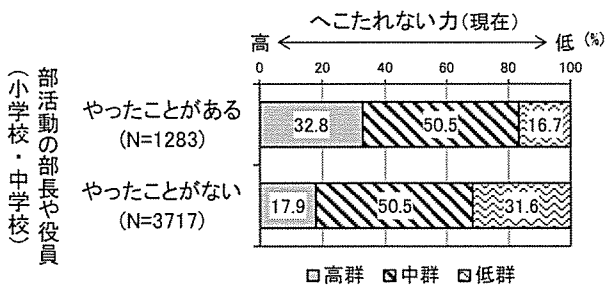


図 2-1-19. 部活動の部長や役員とへこたれない力の関係

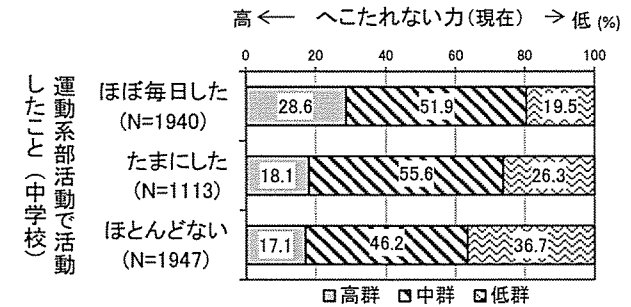


図 2-1-20. 運動部活動で活動したとことへこたれない力の関係

体験の質

学習意欲

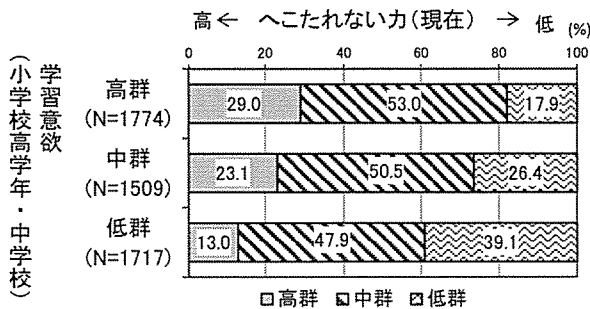


図 2-1-21. 学習意欲とへこたれない力の関係

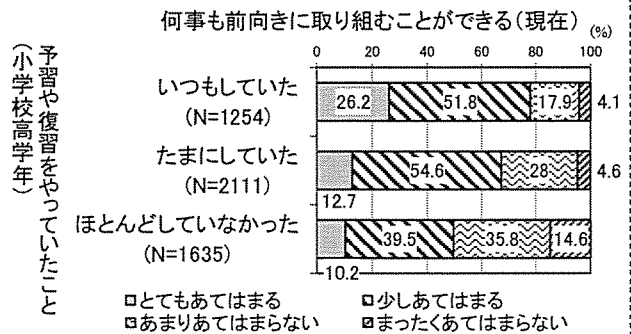


図 2-1-22. 予習や復習をやっていたことと前向きに取り組むこととの関係

(2) 子供の頃の人間関係とへこたれない力の関係

子供の頃、親や先生、近所の人とのかかわりが多かった人はへこたれない力が高い。

子供の頃の人間関係とへこたれない力との関係を見ると、親との関係では「親に社会のルールやマナーについてしつけられたこと」「親と人生や将来について話をしたこと」、先生との関係では「先生に褒められたこと」「先生に悩みを聞いてもらったり、相談に乗ってもらったこと」、近所の人との関係では「近所の人に褒められたこと」「近所の人に遊んでもらったり、教えてもらったこと」が「何度もある」と答えた人ほど、へこたれない力が高い人（高群）の割合が高くなる傾向がみられた。

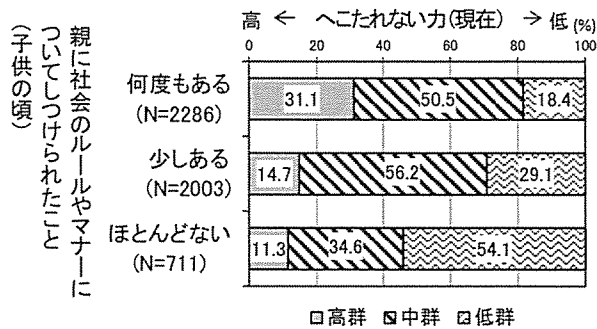


図 2-1-23. 親にルールやマナーをしつけられたこととへこたれない力の関係

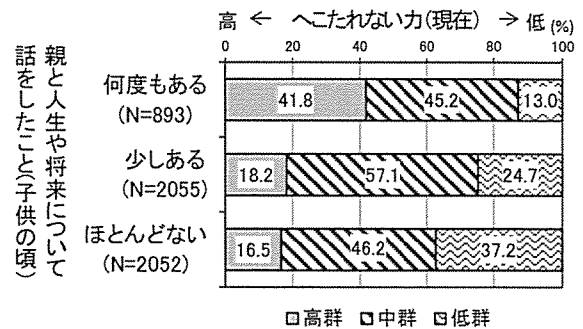


図 2-1-24. 親と人生や将来について話をしたこととへこたれない力の関係

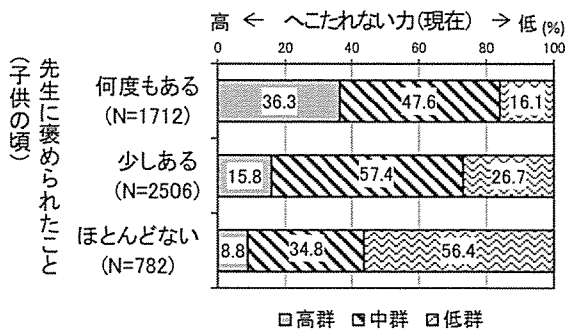


図 2-1-25. 先生に褒められたこととへこたれない力の関係

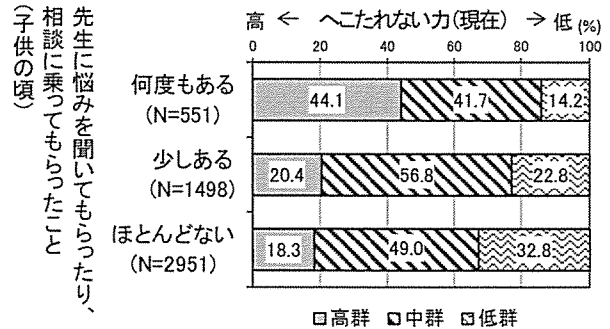


図 2-1-26. 先生に悩みを相談したこととへこたれない力の関係

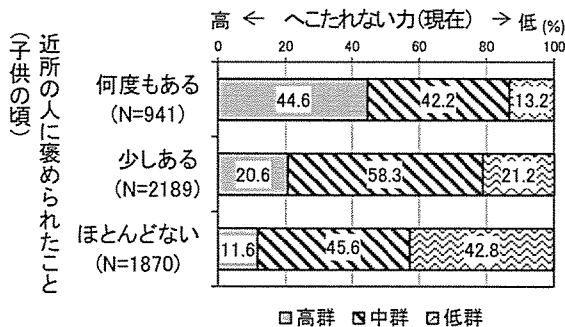


図 2-1-27. 近所の人に褒められたこととへこたれない力の関係

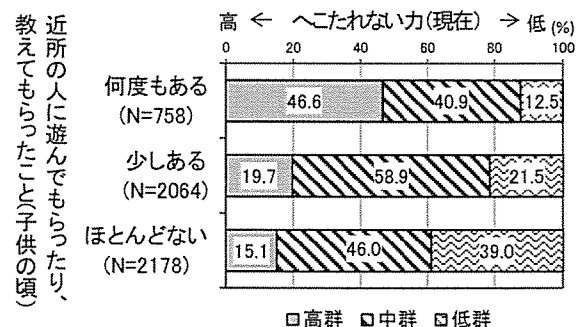


図 2-1-28. 近所の人と遊んだり、教えてもらったこととへこたれない力の関係

2. 子供の頃の体験の質・多寡と社会を生き抜く資質・能力の関係

家庭や地域（放課後や休日）における体験の質と多寡をもとに回答者を4つの群に分類^{※2-2}し、自己肯定感との関係について検証を行った。

子供の頃、お手伝いや家族行事といった体験が多く、家族との愛情や絆を強く感じていた人や、外遊びを多くし、遊びに熱中していた人はへこたれない力が高い。

(1) 家族との愛情・絆（質）・家庭での体験（多寡）と自己肯定感の関係

子供の頃、家族との愛情・絆が強く、家庭での体験（基本的な生活習慣、お手伝い、家族行事）が多かった人（「愛情・絆(強)体験(多)群」）は、他の群に比べ、自己肯定感が高い人（「高群」）の割合が高く、「愛情・絆(弱)体験(少)群」と比較すると約2.5倍の差がみられた。

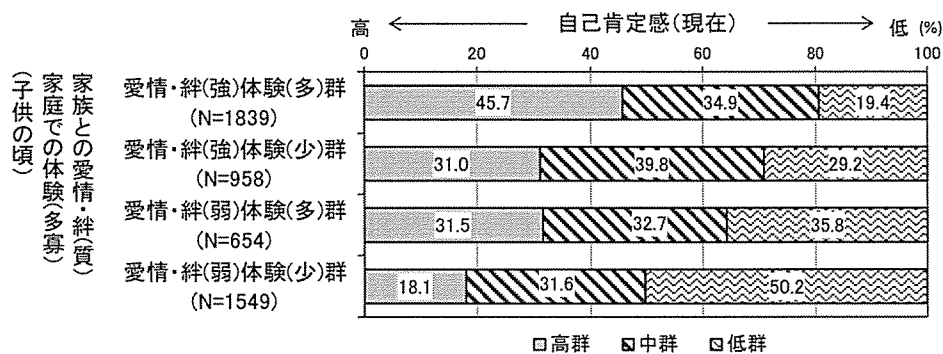


図2-2-1. 家族との愛情・絆（質）家庭での体験（多寡）と自己肯定感との関係

(2) 遊びの熱中度（質）・外遊び（多寡）と自己肯定感の関係

子供の頃、遊びの熱中度が高く、外遊び（集団での外遊び、自然の中での遊び等）が多かった人（「熱中度(高)外遊び(多)群」）は、他の群に比べ、自己肯定感が高い人（「高群」）の割合が高く、「熱中度(低)体験(少)群」と比較すると2倍の差がみられた。

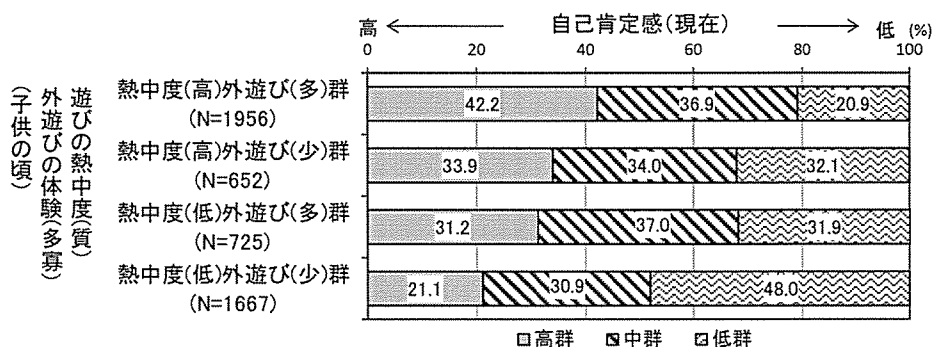


図2-2-2. 遊びの熱中度（質）外遊び（多寡）と自己肯定感の関係

※2-2 体験の質と多寡の4群の分類方法

- 家族との愛情・絆（3項目）、家庭での体験（12項目）の各項目の回答を3～1点で得点化し、それぞれ合計得点を算出。家族との愛情・絆と家庭での体験をそれぞれ軸に、各平均値(M)を基準として4象限に分類。
- 遊びの熱中度（3項目）、外遊び（7項目）の各項目の回答を3～1点で得点化し、それぞれ合計得点を算出。遊びの熱中度と外遊びをそれぞれ軸に、各平均値(M)を基準として4象限に分類。

3. 子供の頃に褒められた・叱られた経験と社会を生き抜く資質・能力の関係

周りの大人から褒められたり、叱られた経験が多かった人はへこたれない力が高い。

子供の頃、親や先生、近所の人に褒められた・叱られた（注意された）経験の多寡をもとに回答者を4つの群に分類※2-3し、自己肯定感やへこたれない力との関係を検証した。

その結果、子供の頃、親や先生、近所の人に褒められた経験が多かった人（「褒(多)叱(多)群」、「褒(多)叱(少)群」）は、褒められた経験が少なかった人（「褒(少)叱(多)群」、「褒(少)叱(少)群」）に比べ、へこたれない力や自己肯定感が高い人（「高群」）の割合が高くなる傾向がみられた。

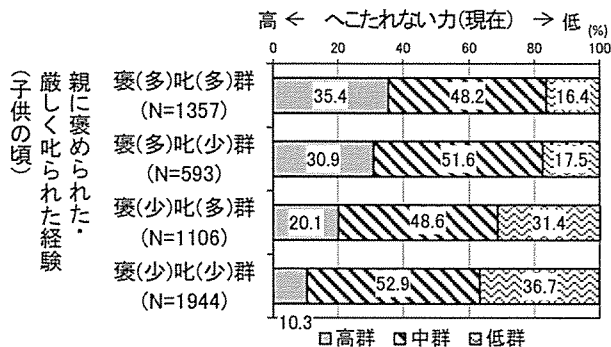


図 2-3-1. 親に褒められた・叱られた経験とへこたれない力の関係

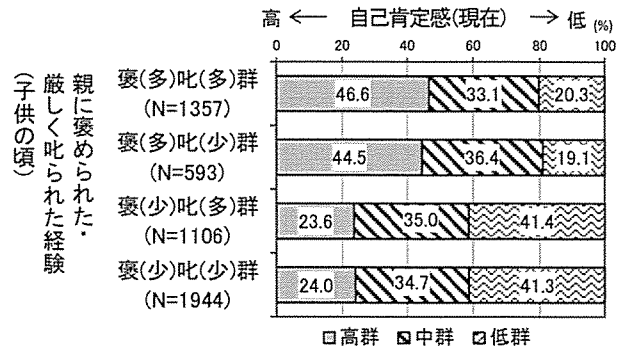


図 2-3-2. 親に褒められた・叱られた経験と自己肯定感の関係

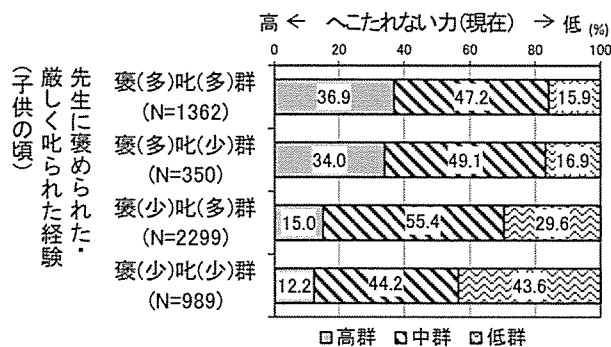


図 2-3-3. 先生に褒められた・叱られた経験とへこたれない力の関係

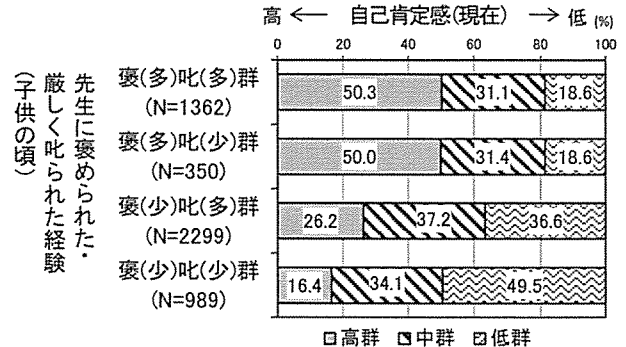


図 2-3-4. 先生に褒められた・叱られた経験と自己肯定感の関係

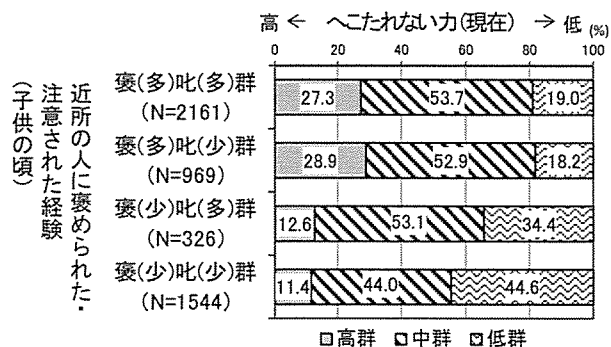


図 2-3-5. 近所の人に褒められた・注意された経験とへこたれない力の関係

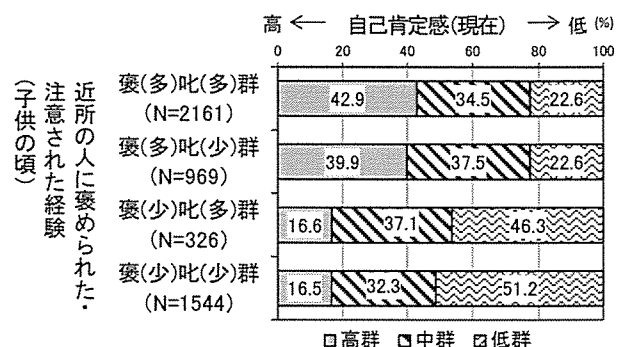


図 2-3-6. 近所の人に褒められた・注意された経験と自己肯定感との関係

※2-3 褒められた・叱られた（注意された）経験の多寡の4群の分類方法

褒められたこと、厳しく叱られたこと（注意されたこと）の回答を3~1点で得点化し、褒められたことと厳しく叱られたこと（注意されたこと）をそれぞれ軸に平均値(M)を基準として4象限に分類。

4. 家庭の教育的・経済的条件別にみた子供の頃の体験と自己肯定感の関係

子供の頃の家庭の教育的・経済的条件別※2-4に、親や先生、近所の人に褒められた・厳しく叱られた（注意された）経験、家族でスポーツしたり自然の中で遊んだりしたこと、公園や広場で友だちと外遊びをしたことと自己肯定感の関係について検証した。

子供の頃、家庭の教育的・経済的条件に恵まれなかった人でも、親や近所の人から褒められた経験が多かった人や、家族でスポーツしたり自然の中で遊んだこと、友だちと外遊びをしたことが多かった人は自己肯定感が高い。

(1) 褒められた・叱られた経験と自己肯定感の関係

【家庭の教育的・経済的条件（高群）】をみると、親や先生、近所の人に褒められた・厳しく叱られた（注意された）経験がともに多かった人（「褒(多)叱(多)群」）は、他の群に比べ、自己肯定感が高い人（「高群」）の割合が高くなる傾向がみられた。一方、【家庭の教育的・経済的条件（低群）】では、褒められた経験が多く、厳しく叱られた（注意された）経験が少なかった人（「褒(多)叱(少)群」）のほうが、他の群に比べ、自己肯定感が高い人（「高群」）の割合が高くなる傾向がみられた。

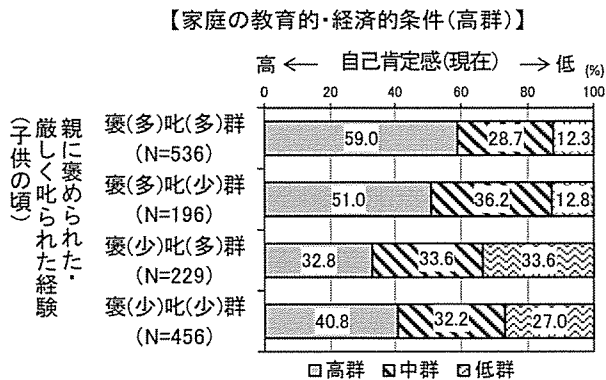


図 2-4-1. 【家庭の教育的・経済的条件（高群）】における親に褒められた・叱られた経験と自己肯定感の関係

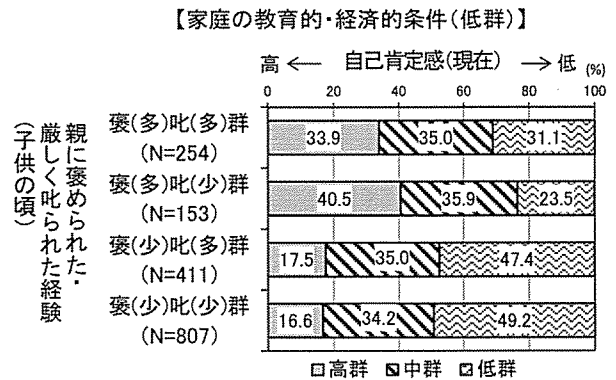


図 2-4-2. 【家庭の教育的・経済的条件（低群）】における親に褒められた・叱られた経験と自己肯定感の関係

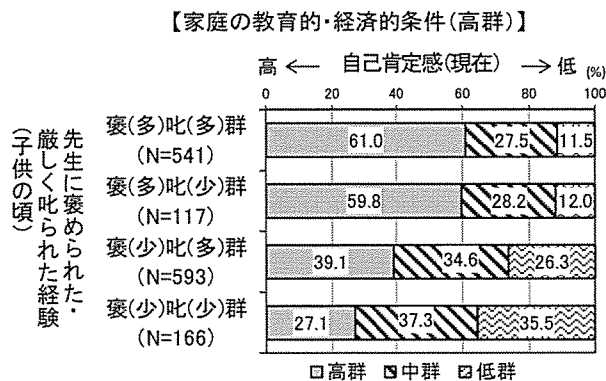


図 2-4-3. 【家庭の教育的・経済的条件（高群）】における先生に褒められた・叱られた経験と自己肯定感の関係

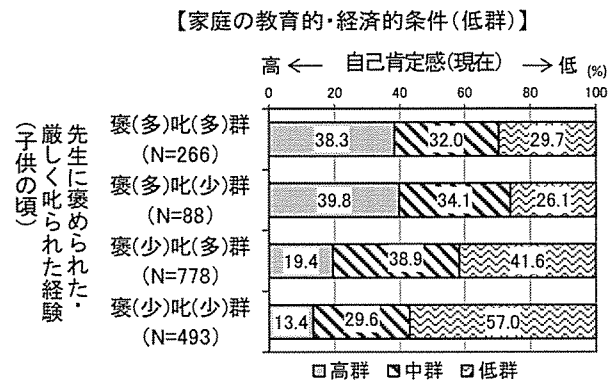


図 2-4-4. 【家庭の教育的・経済的条件（低群）】における先生に褒められた・叱られた経験と自己肯定感の関係

※2-4 家庭の教育的・経済的条件の3群の分類方法

「家族で旅行に行ったこと」「学習塾で勉強したこと」「学校外のスポーツクラブや少年団で活動したこと」「学校外の文化系の習い事に通ったこと」に対する回答を3~1点に得点化し、その合計得点を項目数で除して算出した平均値をもとに合成変数（家庭の教育的・経済的条件）を作成。合成変数の平均値(M)及び標準偏差(SD)を算出し、それらを基準に「高群」(M+SD+2)「中群」(M-SD+2以上 M+SD+2未満)「低群」(M-SD+2)に分類。

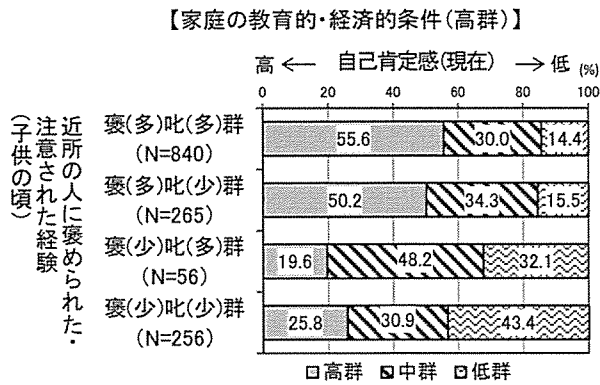


図 2-4-5. 【家庭の教育的・経済的条件(高群)】における近所の人に褒められた・注意された経験と自己肯定感の関係

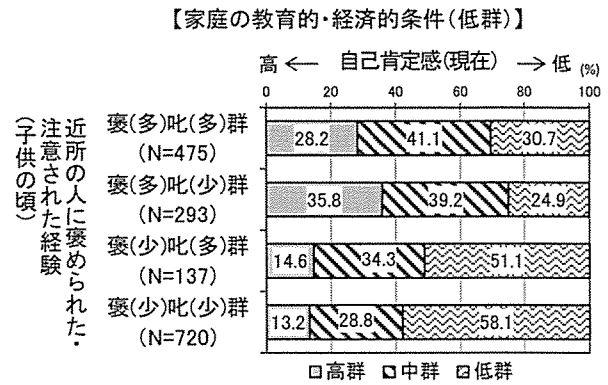


図 2-4-6. 【家庭の教育的・経済的条件(低群)】における近所の人に褒められた・注意された経験と自己肯定感の関係

(2) 家族でスポーツしたり自然の中で遊んだりしたことと自己肯定感の関係

子供の頃の家庭の教育的・経済的条件に関わらず、家族でスポーツしたり自然の中で遊んだりしたことの経験が多かった人(「多群」)ほど、自己肯定感が高い人(「高群」)の割合が高くなる傾向がみられた。

なお、自己肯定感の「高群」の割合を家庭の教育的・経済的条件で比較すると、【家庭の教育的・経済的条件(低群)】の家族でスポーツしたり自然の中で遊んだりしたことの「多群」は、【家庭の教育的・経済的条件(高群)】の家族でスポーツしたり自然の中で遊んだりしたことの「少群」「中群」より、自己肯定感が高い人(「高群」)の割合が上回っていた。

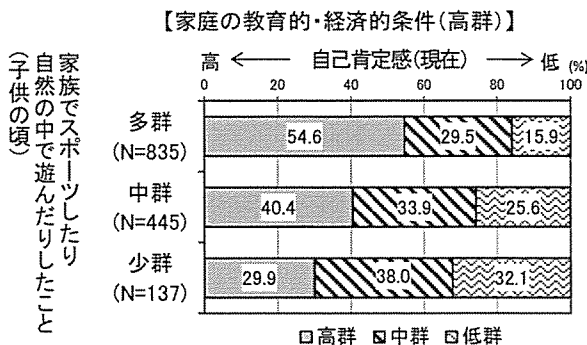


図 2-4-7. 【家庭の教育的・経済的条件(高群)】における家族でスポーツしたり自然の中で遊んだりしたことと自己肯定感の関係

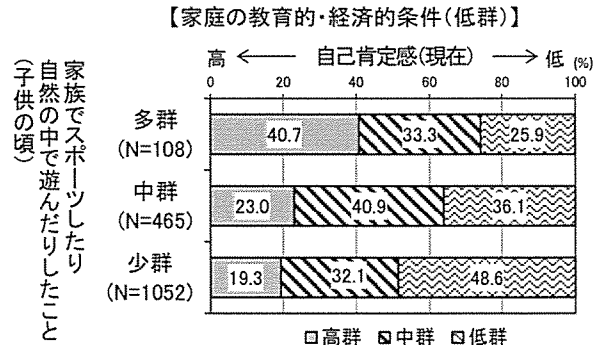


図 2-4-8. 【家庭の教育的・経済的条件(低群)】における家族でスポーツしたり自然の中で遊んだりしたことと自己肯定感の関係

(3) 公園や広場で友だちと外遊びをしたことと自己肯定感の関係

家庭の教育的・経済的条件に関わらず、公園や広場で友だちと外遊びをしたことの経験が多かった人(「多群」)ほど、自己肯定感が高い人(「高群」)の割合が高くなる傾向がみられた。

なお、自己肯定感の「高群」の割合を家庭の教育的・経済的条件で比較すると、【家庭の教育的・経済的条件(低群)】の公園や広場で友だちと外遊びをしたことの「多群」は、【家庭の教育的・経済的条件(高群)】の公園や広場で友だちと外遊びをしたことの「少群」より、自己肯定感が高い人(「高群」)の割合が上回っていた。

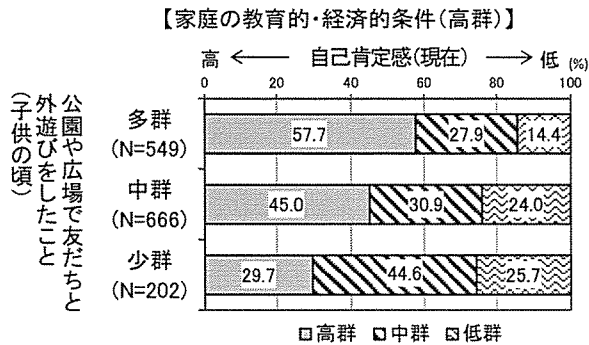


図 2-4-9. 【家庭の教育的・経済的条件(高群)】における公園や広場で友だちと外遊びをしたことと自己肯定感の関係

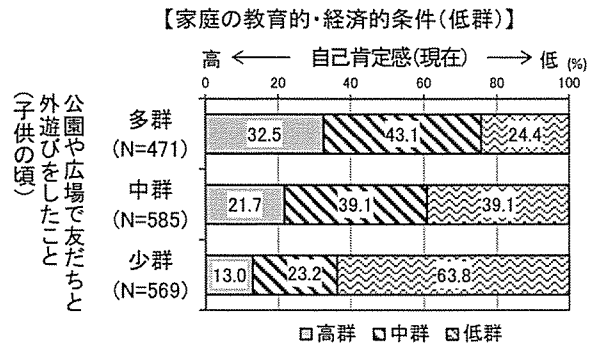


図 2-4-10. 【家庭の教育的・経済的条件(低群)】における公園や広場で友だちと外遊びをしたことと自己肯定感の関係

5. 逆境や困難に直面した時の対応とへこたれない力の関係

へこたれない力が高い人ほど、恋人に理由もなく突然ふられた時は「落ち込んだが、これも人生の肥やしと思った」、スポーツ競技で補欠に回ってしまった時は「監督を見返してやろうと思い、再び練習に打ち込んだ」など、物事を前向きにとらえ、あきらめずがんばろうとする意識が高い。

逆境や困難に直面した時の対応^{※2-5}とへこたれない力の関係をみると、へこたれない力が高い人(「高群」)は、恋人に理由も告げられず突然ふられた時は「落ち込んだが、これも人生の肥やしと思った」、スポーツ競技で補欠に回ってしまった時は「監督を見返してやろうと思い、再び練習に打ち込んだ」と回答する割合がへこたれない力が低い人(「低群」)に比べて高かった。

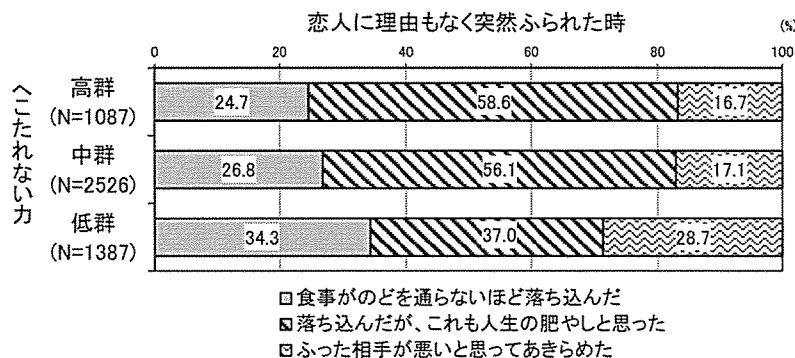


図 2-5-1. 恋人に理由もなく突然ふられた時とへこたれない力の関係

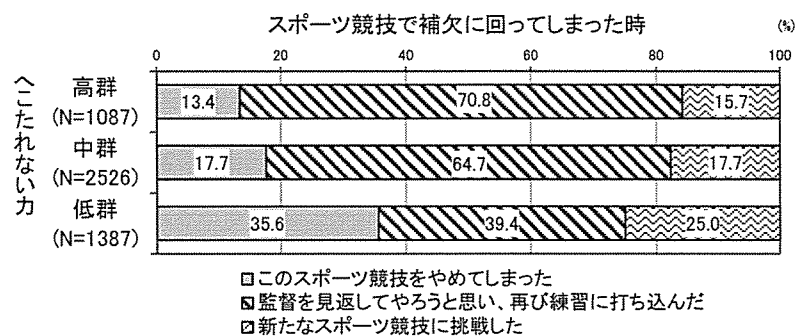


図 2-5-2. スポーツ競技で補欠に回ってしまった時とへこたれない力の関係

※2-5 上記のような経験のない人は、そのようなことが起きたと想定して最も自分に近いと思う回答を選択した。